

総務文教常任委員会会議記録

- 1 日 時 令和6年11月11日(月)午後1時25分から午後2時31分まで
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員 桑原委員長、小野塚副委員長、今成、高柳、大島各委員
- 4 欠席委員 中村委員
- 5 説明者 青柳総務部長、栞原秘書課長、織田澤総務課長、関上地域安全課長、
角田企画政策課長、本多財政課長
星野教育部長、栞原教育総務課長、原澤文化財保護課長
- 6 事務局 峰岸次長兼庶務係長
- 7 議 事 (1) 総務部各課の所管事項報告・調査事項説明
(2) 教育部各課の所管事項報告・調査事項説明
(3) 総務部及び教育部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換
(4) 今後の日程について
(5) その他

8 会議の概要

(1) 総務部各課の所管事項報告・調査事項説明

○委員長 それでは、次第(1) 総務部各課の所管事項報告・調査事項説明に入る。

まず、秘書課の所管に係る事項について報告願う。

(栞原秘書課長 報告)

ア 秘書課

・報告事項

- 1 「市制施行70周年及び水道事業100周年記念式典」の開催について
- 2 「令和6年度沼田市子ども議会」の開催について
- 3 「令和7年 沼田市新春の集い」の開催について

○秘書課長 まず、1 「市制施行70周年及び水道事業100周年記念式典」の開催についてである。こちらについては11月30日土曜日の午後1時30分から、利根沼田文化会館において記念式典を開催する。こちらの式典は約630名の方々を御招待して、70年の歩みをとともに祝いするとともに、市政の発展に御尽力いただいた約240の団体・個人に対して、感謝状及び表彰状を贈呈するものとなっている。またアトラクションとして沼田市音楽協会の皆さんにオープニングを飾っていただくほか、第2部では、来春、統合される県立沼田高校、沼田女子高校の吹奏楽部、軽音楽部を中心とした皆さんと沼田市の親善大使であるほしのディスコさんによるステージを予定しているところである。

次に、2 「令和6年度沼田市子ども議会」の開催についてである。こちらは将来を担う子どもたちに行行政やまちづくりに対する関心を一層高めてもらいたいということで、今年度は11月16日の土曜日午前9時から議場において開催するものである。こちらは沼田市と沼田市議会、沼田市教育委員会の共催で行う事業であり、当日は市内の各小中学校及び利根

沼田地域の高校から推薦された子ども議員の皆さん25名に御出席をいただいて、市政に対する考え方や要望、提案などを発表していただきたいと考えている。市の関係者については、例年どおり市長、議長、副市長、教育長、各部長に出席をいただく予定となっている。

次に、3「令和7年、沼田市新春の集い」の開催についてである。新春の集いについては年明けになる1月10日金曜日午後2時から議場で開催することとなった。こちらは前回を踏襲する形で飲食の提供はなく、アトラクション、挨拶、祝辞といった構成で、今回も企画をさせていただいている。招待者については、前回同様120人程度の規模を考えている。

秘書課からは以上である。

○委員長 説明が終わった。まず、1報告事項「市制施行70周年及び水道事業100周年記念式典の開催について」質疑はあるか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長 次に、2報告事項「令和6年度沼田市子ども議会の開催について」質疑はあるか。高柳委員。

○高柳委員 秘書課が担当しているということで、今私が広報広聴準備委員会の委員長をさせてもらっていることから伺う。議会の広報活動について、先般、取手市に行政調査に行ってきた。子ども議会、中学生の議会を、主権者教育という立場で、インターネットや委員会活動を模擬的にやっており、それを市民に広げるという活動を行っている。沼田市の現状からすると、そこまで一足飛びには行かないまでも、今の子ども議会と何かそういったものの付加価値がつけられるものであれば、検討していきたいということが、前回の広報広聴準備委員会での確認された事項であるので、今後の教育部と調整をさせてもらいながら、できることから着手していきたいと考えている。何か考えるところがあれば発言いただいて今後に生かしたいと思う。

○秘書課長 主権者教育としての子ども議会との連携ということであるが、長く子ども議会もやっており、非常にいい取組であるが、さらに発展的なことを考えたときに何かしらお手伝いをさせていただけるようなことや、相談に乗っていただけるようなことがあれば、それが子どもたちのためにつながることであれば、積極的にどんどん取り入れていきたいと考えている。

○高柳委員 お願いしたい。

○委員長 ほかに。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長 次に3報告事項「令和7年度新春の集いについて」質疑はあるか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長 以上で秘書課を終了する。

次に、地域安全課の所管に係る事項について報告を願う。地域安全課長。

（関上地域安全課長 報告）

イ 地域安全課

・報告事項

1 沼田市地域防災訓練について

○地域安全課長 1 報告事項「沼田市地域防災訓練について」である。11月17日日曜日午前9時から升形小学校校庭及び屋内運動場を会場に、沼田市地域防災訓練を実施する。終了はおおむね11時30分を予定している。当日は升形小学校区内の9か町及び各町自主防災会、東京電力、NTT、利根沼田広域消防、沼田市消防団の参加により、避難誘導、避難所開設運営、避難所ライフライン体験、初期消火訓練などを行う。今回の訓練であるが、住民参加型の実動訓練としており、訓練を通じて、参加者同士がお互いに協力し合うことで、防災意識の高揚と防災行動力の向上を図り、災害発生時に防災活動が円滑に行えるよう訓練を行うものである。

地域安全課からは以上である。

○委員長 説明が終わった。1 報告事項「沼田市地域防災訓練について」質疑はあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 以上で地域安全課を終了する。

次に、企画政策課の所管に係る事項について報告願う。企画政策課長。

(角田企画政策課長 報告)

ウ 企画政策課

・ 報告事項

- 1 令和6年度事務事業評価結果及び沼田市第6次総合計画後期実施計画の改定について

○企画政策課長 1 報告事項「令和6年度事務事業評価結果及び沼田市第6次総合計画後期実施計画の改定について」である。初めに、別冊の令和6年度事務事業評価の結果について御覧いただきたい。1 ページ目に記載しているが、事務事業評価は市が実施している事業について客観的に点検評価をし、課題を発見するとともに、その結果を総合計画の進行管理や次年度主要事務事業の選定及び予算編成の資料として活用し、今後の市政運営の改善につなげていくための取組で、PDCAサイクルを繰り返すことで、より効果的、効率的な市政運営を目指すものである。1 ページの下、図2 政策目的体系と行政評価レベルの構造的イメージのとおり、総合計画は政策レベルの方針を示す基本構想施策レベルの方針を示す基本計画、事務事業レベルでの実施計画の3層構造となっている。このたび報告させていただいたのは、実施計画に基づき実施執行した153事業の事務事業評価の結果である。評価方法については、3 ページと4 ページ、評価の結果については、5 ページ以降を御覧いただきたい。本年度事務事業評価結果として、令和5年度実施事業153事業中、現状のまま継続するとされた事業は136事業、見直しの上で継続するとされた事業は14事業、休止が1事業、終了が2事業であり、その内容は、A3判横とじにしてある令和6年度事務事業評価結果一覧のとおりである。また、もう1つ別冊の沼田市第6次総合計画後期実施計画については、新規事業の追加や、年度別実施計画の見直しを行い、事務事業評価結果を踏まえ改訂した。なお、本日お配りした資料については、本委員会終了後、全議員宛に配付させていただき、12月の市ホームページにて公表予定である。

企画政策課からは以上である。

○委員長 説明が終わった。1 報告事項「令和6年度事務事業評価結果及び沼田市第6次

総合計画後期実施計画の改訂について」質疑はあるか。副委員長。

○副委員長 二次評価のところであるが、行政評価の審査委員についてどのような方がいるのか教えていただきたい。

○企画政策課長 行政評価審査委員の委員については、副市長を委員長に、総務部長、総務課長、職員課長、企画政策課長及び財政課長という人員である。

○副委員長 外部の方はいないということで、承知した。136の事業が継続ということで、要か不要かということで、大体皆さん要であると思っているが、よくよく考えたら要らないため不要にするというアクションは、頻繁に事業を廃案、休止していくことは積極的に行われているのかどうか教えていただきたい。

○企画政策課長 事業を継続するかしないかということも含めて、積極的にというか平等に行っている。

○委員長 ほかに。高柳委員。

○高柳委員 毎年言っているが、今回森林文化都市アクションプランが出ていて、予算額も入っている。この間の沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略も年度に予算がついている。こういうものの整合性は、残り令和8年度まで、予算もついている。この辺の整合性というのは、どこかで検討したのか。

○企画政策課長 総合計画が最上位計画ということで森林文化都市アクションプラン、沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中の位置づけられている事業についても、総合計画に基づくアクションプラン実施計画ということに位置づけをされている。このため、重複するものも当然その中に入ってくるものと認識している。

○高柳委員 総額はきっと減らさなければならぬわけで、先日財政課長からも厳しい財政状況であると聞いたが、総額を減らしていくという中で、新しい時代に合わせた新しいことが必要である。必然的に古くて、必要性が低くなってきているものは、積極的にカットしないと、予算上ショートしてしまうわけである。そういう見直しをどこかでできないものかということで、多分ほかの委員もみんな同じで聞いていると思うが、そういうセクションというものはどこかにあるのか。あるいは検討するときの最後のほうで、その辺を話し合われるのか、もう1度伺いたい。

○企画政策課長 今年度実施した事務事業評価は、1年前のものになる。その評価についてはその時点では予算を具体的にどのぐらいカットするかは示されていなかったもので、事業について必要か、そのまま継続するか、休止するか、終了にするかという判定を行わせていただいたということになる。

○高柳委員 大きな市である政令指定都市や前橋市・高崎市クラスになると、民間事業者による外部評価というものが行われているところもある。続けている担当者からすれば、なかなかそれをバツサリ切るということとはできないと思う。しかし市民レベルやその民間レベルで見た際に、やはり相対的に低くなっているものを見直さないと、新しい事業というものには手が出せない。外部から言われないと、難しいと思う。例えば隣の課のことを、それはいらぬのではないかとすると、お前が嫌だったからという話になる。内部は内部で精通しているのでもいいところもあると思うが、客観的に見たときには、どうなのだろうというのは、やはりどこかで外部評価をしてもらわないと、職員同士も厳しいと思う。毎年これだけのものをつくって、一生懸命見直ししてくれているのに、いいところに予算配

分がつかずに、痛み分けで終わろうではないかということになって、今回も中止が1件で、ほとんどが継続なわけである。これを何回やってもきっと今の事業を減らせないということで、やはり外から見たときにこれは厳しいということをごどこかで言ってもらい必要があると思う。その辺の検討はされたか伺いたい。

○企画政策課長 外部評価というお話かと思うが、もちろん現在の手法が完全であるとは市としても認識はしていないので、いただいた御意見も参考にしながら、今後検討してまいりたいと考えている。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 以上で企画政策課を終了する。

次に財政課の所管に係る事項について説明を願う。財政課長。

エ 財政課

・調査事項

1 中央公民館跡地の利活用の検討状況について

○財政課長 1 調査事項「中央公民館跡地の利活用の検討状況について」である。本年4月に本委員会でホテルルートイン沼田への当面の貸し付けについても選択肢の一つとして検討を行っているところであると申したが、その後の検討状況を報告する。まず、前提として、当該地を沼田まつり期間中のメイン会場として使用することを踏まえた上でのことであるが、現状としては、駐車場用地としての活用を考え、先に申した、ホテルルートイン沼田との交渉を継続しているところである。

報告は以上である。

○委員長 説明が終わった。1 調査事項「中央公民館跡地の利活用の検討状況について」質疑はあるか。今成委員。

○今成委員 ホテルルートイン沼田との駐車場の計画をそのまま継続しているということであるが、例えば、民間の市民から、ほかの利活用について、こういう方式でというような提案なども全くない状態であるか。

○財政課長 御質問の内容としては、民間提案制度のような形で、地域の方からの提案があったかどうかということによろしいか。それについては民間、ファシリティマネジメントの提案制度の期間中であるが、今のところそういった提案はない。

○今成委員 分かった。

○委員長 ほかに。高柳委員。

○高柳委員 今の質疑に関連して、文章でこれを上げるというのは、なかなか困難であろうと私は思っている。それなので例えば沼田まつりが終わった後の反省会で、そこをどう使おうかという話が恐らく出ていると思う。そういうものをやはり幾らか専門的な方々に積極的に諮っていただいて、一等地の広い場所であるから、やはり1年丸々の活用がなければ、財政的にも、あるいは市の行政的にもかなりの損失になるわけで、文書で正式に上がっていないから検討できないということではなくて、そこをどうするかという意味で、市として主体的に検討する機関が必要だと思っていて、そういう機会というのは財政課以

外には、見直しをされる機会はないのか。

○財政課長 財政課が知りうる限りでは把握していない。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 以上で財政課を終了する。

(4) 今後の日程について

それでは(4)今後の日程について、次回の委員会について事務局より説明を願う。

(事務局書記 説明)

○委員長 説明が終わった。次回の委員会については事務局からの提案のとおりでよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 ほかに皆さんから何かあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 以上で総務部各課の所管事項報告及び調査事項説明を終了する。休憩する。

(総務部 退室)

(休憩 午後1時51分から午後1時56分まで)

(2) 教育部各課の所管事項報告・調査事項説明

○委員長 それでは引き続き、次第(2)教育部各課の所管事項報告・調査事項説明を行う。教育総務課の所管に係る事項について報告願う。教育総務課長。

(栞原教育総務課長 報告)

ア 教育総務課

・報告事項

1 「沼田市立小中学校統廃合に係る進捗状況について」

○教育総務課長 1 報告事項「沼田市立小中学校統廃合に係る進捗状況について」である。

資料1 ページ、教育総務課報告事項を御覧いただきたい。先月の常任委員会で報告させていただいた沼田市立小中学校の適正規模・適正配置基本方針について10月16日から25日にかけて、市内7ブロックの役員の代表者へ本基本方針が策定されたことを報告したところである。支部長や会長からは特に反対等の意見はなく、基本方針に基づき、統廃合を進めることについて御理解いただけたと認識しているところである。また、統廃合に係る庁内検討委員会を10月17日に開催し、基本方針策定に至る経過説明を行い、各課が所管する既存計画への影響や課題、調整事項等について意見集約しているところである。今後の予定については、この後の委員協議会で報告させていただく。

教育総務課からは以上である。

○委員長 報告が終わった。1 報告事項「沼田市立小中学校統廃合に係る進捗状況につい

て」質疑はあるか。高柳委員。

○高柳委員 先ほど10月16日から25日にかけて、各地域や学校、学校等で説明会を行ったというお話であるが、統廃合に反対はなかったという報告であるが、結局今のままでいいという人はいなかったというだけであろう。どう変えたらいいのかという御意見は、出なかったか。

○教育総務課長 説明した対象が学校ではなく地域の区長会の支部長さん、振興協議会がある場合は、振興協議会長さんの最大でお2人だった。基本方針について小学校は基本的に残すことや、中学校は原則統廃合を検討するとかという文言が作成されていることについて、各地区でまた状況が違うので、それについて説明・報告をさせていただいた。あくまでも基本方針ということで具体的にどことどこが統合されるということがないと、なかなか意見も出づらいということで、その辺については具体的な枠組みを示した上で、次の役員全体に説明することでよろしいか了解をいただいたところである。

○高柳委員 まだ全然中身が入っていないので、結構である。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 以上で教育総務課を終了する。

次に、文化財保護課に係る事項について説明願う。文化財保護課長。

(原澤文化財保護課長 説明)

イ 文化財保護課

・調査事項

- 1 「沼田公園発掘調査の進捗状況について」
- 2 「沼田横塚産業団地発掘調査の進捗状況について」

○文化財保護課長 まず、1「沼田公園発掘調査の進捗状況について」である。

資料の3ページ、令和6年度沼田城跡調査総括報告書作成業務進捗状況を御覧いただきたい。1総括報告書作成業務について、平成30年度から令和5年度までの6年間で行った発掘調査、地中レーダー探査及び測量調査等の成果として作成作業を行っている。進捗状況については、表中段⑥測量調査の成果図面と⑦地中レーダー探査の成果図面が完了したところで、現在は④出土物写真撮影、⑤発掘調査の成果図面及び⑨文献史料の調査を進めている。全ての完成は令和7年3月末となる。

次に2沼田市史跡沼田城跡調査・保存整備委員会専門部会について、これまで専門部会の先生方には直接本市にお越しいただくなど、逐次御指導いただいていたが、今年度中に2回の専門部会を開催する予定である。なお、総括報告書の完成後は、普及啓発事業として、調査成果報告会の開催や調査成果を紹介するパンフレット、発掘沼田城瓦版の発行などにより周知に努め沼田城跡の価値を高めるための取組を進めてまいりたいと考えている。資料4ページには、発掘調査と地中レーダー探査の実施位置図を参考に添付をしたので、後ほど御覧いただければと思う。

次に、2「沼田横塚産業団地発掘調査の進捗状況について」である。

資料5ページ、沼田市横塚産業団地整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査区位置図を御覧い

ただきたい。本調査は令和5年度と6年度の2か年で市直営調査と委託調査による方法で実施しており、進捗状況については、直営調査は令和5年度にピンク色の①から④までが完了し、令和6年度は、水色の⑤A3地区の調査がまもなく完了する見込みである。

また、委託調査は、令和5年度に赤色の①から④までが完了し、令和6年度は、青色の⑥C3地区が10月末までに完了し、⑤A1地区が11月に完了する見込みである。これまでの進捗率は、直営と委託合わせて約79%完了している。今後の予定として、直営調査は、水色の⑥B1地区と⑦C5地区の調査を行った後、⑧E2地区、⑨E1地区へと順次調査を進める。委託調査は、青色の⑦C6D1地区と⑧D2地区の調査を進めてまいる。今後、霜や雪の影響から作業効率の低下が懸念されるが、令和7年3月末までに現地調査が完了するよう計画的に進めてまいる。資料6ページ、7ページには直営と委託別の概要として、各調査区の調査期間検出された古墳や土溝、建物跡など参考に添付したので、後ほど御覧いただきたい。

以上である。

○委員長 説明が終わった。まず、1調査事項「沼田公園発掘調査の進捗状況について」質疑はあるか。大島委員。

○大島委員 長年にわたって公園について、業者が調査をして結果が出たと思うが、この結果の写真は、後で出すのか。

○文化財保護課長 その予定である。

○大島委員 分かった。それで、今まで最初から、かかった費用は分かるか。最初からかかった総額について。

○文化財保護課長 大変申し訳ないが、今日手元にその数字を持ち合わせていないが、平成30年度から6年度分の年度ごとの調査委託等含めて、その合計額ということであれば分かる。手持ちにないので申し訳ない。

○大島委員 後日分かればよい。

○委員長 ほかに。高柳委員。

○高柳委員 先ほどの話の最後に、沼田公園の価値を高める努力をし、続けていくというお話であった。もちろん議会のほうもそういう立場で見守ってきているわけである。時期が早すぎたかと思うが、今月中に100%になって、来月と2月で文書を検討して直すということであるが、関心事というのは、5層の天守を造るのに耐えうる状況であったのかということが、多分一番の関心事であると思う。現時点で、非公式な部内の会議等では、意見交換が多少されたのか伺いたい。

○文化財保護課長 天守の位置や天守の有無といったことでよろしいか。現在、先生方にも細かく御指導いただいているところであるが、まだまだ調査が足りないというのが正直なところである。その辺御理解をいただきたいと思う。

○高柳委員 もう1つであるが、いろいろな日本中の自治体で城を核とした観光を、いろいろな事例があったり検討があったりするわけであるが、所有の問題であるとか、仕様の問題であるとか、次に出てくるわけである。例えば、市で結論はまだ公式には出せないとなったとして、例えば民間の人たちがその土地を譲り受けたり、借り受けたりして、できるだけ、当時の、これから出されるであろう印刷物に近いような形でもって具体化するという話が出たときに、使用や利用についての検討はされたか。

○文化財保護課長 まだまだそこまでに至っていない。

○高柳委員 例えば前橋駅について、前橋駅の所有財産の担当者と話をしたのだが、駅のロータリーのところは、ＪＲとの共有であったり、市のものであったり、道路区分であったりしているが、活性化させるために、何か販売をする車であるとか、結構自由に入れたりしており財政課が管理をしているが、そういう方法について、後から考えるのではなくて、そろそろ並行して考えていかないと、この次はこれでは、いつまでたっても形ができない。私が岡崎市に行ったときも、その管理運営の在り方について検討していたので、役割分担なので、そこら辺についても急ピッチで、皆さん関心があるうちに、何か一歩進んでいくような、両輪になってもらいたい。だからこれが終わってからこれというのでは、恐らく進まないだろうし、今思っている人がいなくなってしまうわけである。このため助走を始めてもらいたい。そのことについて考え方があればお伺いしたい。

○文化財保護課長 今高柳委員のおっしゃった関係であると、観光振興といった部分で観光交流課であるとか、公園の中にあるので所管が都市計画課になろうかと思う。現状でも必要に応じて連携しているので、今後もその辺り落ちがないように連携してまいりたいと思う。

○委員長 ほかに。私のほうからいいか。

○副委員長 委員長。

○委員長 高柳委員の質疑の中で、先生たちがまだまだ調査が足りないとの話があったが、多分そこを大島委員が聞きたい部分であると思うが、私も議員になってからもう何度も何度もこれをやっていて、予算が気になって大島委員も言ったのだと思うが、お金のことは置いておき、要するにあったかなかったか、まだ調査が足りないから分からないということであると思うが、そうするとその議論の中であとどこを発掘するのか、発掘する場所が何年ぐらいかかるのか、そういう議論というのを実際しているか。今年度調査結果を出すということだから、口で多分なってしまうのだろうが、これだけ待たされて、特に大島委員はお城を造りたいという話で、この調査結果を待ちたいわけである。まだ足りないというのはどのくらい足りないのか、どの辺の範囲をやれば、その結果があるのかなのか、そういう議論はあったのか、そこだけ伺いたい。

○副委員長 文化財保護課長。

○文化財保護課長 議論については、直接、まだ今年度専門部会を開催して先生方から御意見、徴する場面がなかったので、個別に担当が先生と話している中での話なのだが、おおよそこれまでの調査で英霊殿の辺りを発掘させていただいたときに、あの辺りが天守なのではないかという想定は報告をいただいている。ただ確定した部分までは大きな要素がまだまだ足りないので、たくさんの古い絵図なども絵図ごとにまちまちな部分もあるので、まだまだ調査が足りない部分があるというのが正直なところである。

○委員長 最後に聞きたいのだが、建っていた前提で物事を話しているが、もし建っていなかったら、例えば周りはあったが、天守はなかったのだと。例えば途中で戦争に負けて、そこまでいかなかったのではと言う人も結構いる。あったということで、発掘をしているが、そうではなくて人間がやることなのだから、例えば戦争の時代のことであるから、お堀から始めてこちらをやりようと思っていたら、途中でやられてしまったという推測も考えられる。ここまでやって出ないのだから。出たか出ないかの話である。お金も時間も使っ

ている。レーザー探査であっても結構正確であると思う。それで反応がないということは、私は断念するという決着を、どこかの段階でするべきではないかと思う。別にないことを想定して言っているわけではないが、もうないのなら、どこかで区切りをつけていかないと、きりがいいのではないか。だから、大島委員はあったものだという前提で言っている、私もそうだと思うが、なかった、あれほど見事な石があって実際回りもあるが、なかったという話は前に聞いている。現実的になかったのではないかという、私は普通にそう思う。その辺の結果を、そろそろ言わなければならないときまできているのではないかと私は思う。行政側からは、その先生方に対して言えるものか。そのことについて教えていただきたい。もちろんそういう話が出ているのかも含めて。

○文化財保護課長 去年今年と専門部会の中ではそういった詰めた話まではまだ至っていない。ただ、総括報告書が完成する中で資料の1番でもお示ししたとおり、今年度2回これからやらせていただくので、そういった部分を詰めていかなければならないのかと考えている。

○委員長 分かった。ほかに。副委員長。

○副委員長 先ほど大島委員のほうから総額のお話があったが、これは率直な沼田市民からの意見だと思って聞いていただきたい。野球場が総額幾らか覚えていないが、新しく利南地区にできた。武道場ができた。公園からなくなってスポーツ機能が動いていったわけである。発掘調査は当然現状保持しなければならないので、掘ったら埋めるということで、それは承知しているが、お金をかけたよりも姿が変わっていかないということに対してすごく市民が残念に思っているとか心を痛めているところであると思う。公園の管理は都市計画課が主体なのであると思う。先ほどのスポーツの機能を受けたのでスポーツは少し機能が薄れてきたのかと思いつつも、産業振興でイベントをやるときであるとかいろいろな課が携わっているところであると思うが、そろそろ公園の色というか、ビジュアル的な統一性を持ったものにしていかないと、何かごちゃごちゃした公園になってしまっている。だんだん寂しくなっているとしか思えないというのが正直な市民の意見であり、この文化財保護課として公園はお城の雰囲気を出していくのだというプライオリティ、優先権、主導権を持ってしまうという考え方はあるのか教えていただきたい。

○文化財保護課長 それらの部分に関しては、まずは今年度の報告書ができあがったものを受けて、今後どうするのかという判断を経てからというのが、まず必要かと思う。その部分も受けて私どもも当然庁内連携をしていきたいと思うので、御理解いただきたいと思う。

○副委員長 先日視察へ行ったが、皆さんのほうがいろいろ見聞があるかと思うが、例えばここにお城があったであろうという場所については、やはりその発掘途中はこういう経過なのだが、こういう場所であるという統一性は持っていて、しっかりと市民にも観光客にも見えるようにしてある状態があって、そこから余分な要素をある程度排除していると思う。ここにお城があったのだという雰囲気が醸し出されているとか、そういう行為がすごく大事で、そうするとだんだん市民もここに集まってきたら楽しいねというパワーのある場所でないといけないと思っている。今は正直石垣があるわけでもなく、コンクリートの直しがあるなど、草花もいろいろなものがあるのはいいが、やはりお城とかけ離れたものが植わっていたらまた違うし、草の管理1つ、そういったところまで文化財保護課

としての色を出して行ってほしいなと思う。それをやはり調査を待つと言われると、あと何年待てばいいのかという市民感情になる。沼田公園は、こういうビジョン、ビジュアルにしていきたいということを、文化財保護課から出してほしい。この回答を待ってからという回答なのだが、都市計画課がそれを言うてこないのであれば、ぜひ文化財保護課からこういう色でとっていただきたい。あの原色の赤や黄色とかというのではなくて、いわゆる和風というのか、お城の面影を、誰が見ても歴史を感じるようなカラーリングにしていってほしい。先ほどと同じ回答になると苦しいが、ぜひ積極的に文化財保護課から進めていただきたい。その辺についてもう一度伺いたい。

○文化財保護課長 沼田公園自体の位置づけというものが市民感情いろいろで、憩いの広場であったり、花壇のきれいな場所であったり、あれだけ充実している公園施設なので観光客もたくさん見えている。そういった公園自体の価値も含めて、今後全体的にどんな形でもっていくことがいいのか、庁内で調整していきたいと考えている。

○副委員長 ぜひ文化財保護課から、こういう色で、別にお城とかを、その戦国時代の雰囲気を感じるものが、憩いの場に必ずなるとは思わないが、雰囲気がよければ皆さん憩いの場になるので、ぜひ進めていただきたいと思う。よろしくお願いします。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 次に、2調査事項「沼田横塚産業団地発掘調査の進捗状況について」質疑はあるか。高柳委員。

○高柳委員 今の進捗状況について分かった。新年度についても今説明があったとおりであるが、当たり前の話であるが、ここのところに埋め戻しをして、工業団地にしても大丈夫な状況であるのか、改めて伺う。

○文化財保護課長 現段階では保存が必要な貴重な遺構の発見には至っていないので記録保存で完了している状況である。

○高柳委員 残りのところもほとんど可能性は低いという前提で、来年3月31日をもって終了するということであるが、この工事全体をするときに、例えば進入路が狭くて広げなくては入れないとか、そういったところはあったのか。

○文化財保護課長 全体の造成のことにしましては、産業振興課にお世話になっている状態である。産業振興課への引き継ぎに関しても造成までは求められていないので、調査完了時までというところで御理解いただきたいと思う。

○高柳委員 改めてもう1つ確認であるが、ここは埋め立てて、そういう目的にするという前提でもって調査をしているわけで、あの貴重なものを是が非でも見つけて何とかしてやるというのではなく、ないことを確認するという場所なのだろうというふうに思っている。それほど貴重なものはなかったということを確認することだと思うが、その後になどようになるか公表しているわけである。そういう意味で改めて聞きたかったのは、今の工事ですら重機が入るのに苦勞をするとか、それから水は当然不十分かもしれないがそういった不十分があったということは課として、産業振興課のほうにどの程度引き継ぐ気なのか、お伺いしたい。

○文化財保護課長 現地発掘調査に入るに当たって現場事務所などを設営させていただく際にも、やはり電気もない状態であった。水道管は来ていたが、そういった状況であった

ので、逐一導入段階から産業振興課と打ち合わせをさせていただいている。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 以上で文化財保護課を終了する。

(4) 今後の日程について

○委員長 次に(4)今後の日程について、ア 次回の委員会について、事務局に説明させる。

(事務局書記 説明)

○委員長 説明が終わった。次回の委員会については、事務局の提案のとおりとしたいと考えるが、よろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それでは、そのようにしたい。以上で教育部各課の所管事項報告・調査事項説明を終わる。休憩する。

(教育部 退室)

(休憩 午後2時25分から午後2時28分まで)

(3) 総務部及び教育部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換

○委員長 休憩前に続いて会議を開く。次第(3)総務部及び教育部所管事項についての調査事項の意見交換に入る。まず、総務部について何かあるか。

○小野塚委員 行政評価は。

○委員長 行政評価は、第三者民間が入らなければ変わらない。

○大島委員 内々でやっていたのでは変わらない。

○委員長 これについては調査事項にならないと思う。総務部について、ほかに何かないか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 それでは教育部のほうで何かあるか。

○高柳委員 学校給食の質が、やはり落ちているという話を結構聞く。市内でも県内でも、つまり物価高騰で幾らか予算を配分しても、付いていないという気がする。このため今の学校給食の現状について、当初予算と比べてどのぐらい出していて、それでもこのぐらいなのだとことを知りたい。現状を。

○委員長 学校給食の給食費…。

○高柳委員 学校給食費と物の現状。

○委員長 もう少し細かく言えば、物価高騰の影響があるのかないのかということか。

○高柳委員 その中身を知りたい。

○委員長 影響により中身を減らしているのかどうか。

○高柳委員 そういうことである。

○委員長 ほかに。どうか。学校給食だけでいいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それでは、調査事項は総務部なしで、教育部の学校給食の現状（物価高騰の影響があるかないか）とする。

以上で意見交換を終了する。

(4) 今後の日程について

○委員長 次に、(4) 今後の日程について、イ 今後のスケジュールについて事務局に説明させる。

(事務局書記 説明)

○委員長 説明が終わった。次回のスケジュールについては、事務局説明のとおりなのでよろしくお願いしたい。

(5) その他

○委員長 次に、(5) そのほかについて何かあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で総務文教常任委員会を終了する。

(午後2時31分 終了)